

愛知県石油コンビナート等防災訓練に 海洋環境整備船「白龍」が参加しました！

当事務所所属の海洋環境整備船「白龍」が、11月9日（木）に東レ(株)東海工場(愛知県東海市新宝町)及びその周辺海域において実施された南海トラフを震源とする地震を想定した「愛知県石油コンビナート等防災訓練」に参加しました。

■内容

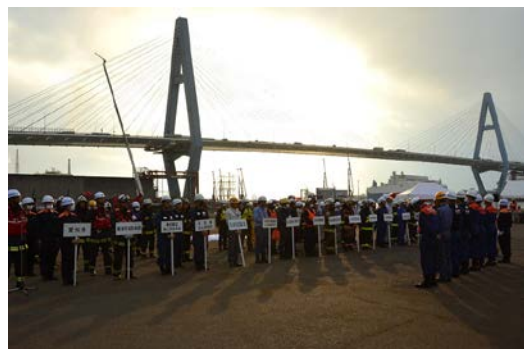
本訓練には東海市と隣接する3市の消防や名古屋海上保安部、県警、臨港工業地帯に事業所をもつ18機関から約160名が参加。海上訓練と陸上訓練の2会場に分かれ訓練が実施されました。

海上訓練では、巨大地震の発生により東レ(株)東海工場の荷役施設からパラキシレンが海上流出した想定のもと、オイルフェンスの展張、航走拡散訓練等が行われ、海洋環境整備船「白龍」は、航走拡散訓練に参加しました。

航走拡散訓練は、海洋環境整備船「白龍」と名古屋港管理組合の「ぽーとおぶなごや2」が並走し、航走によるパラキシレンの拡散を行いました。



航走拡散訓練の様子



閉会式・講評の様子

■配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

- ・ 防災訓練に関する問い合わせ 専門官 渋谷（しばや） TEL052-651-6732
- ・ 船舶に関する問い合わせ
海洋環境・防災課 山脇（やまわき）、山下（やました） TEL052-651-6791

【海洋環境整備船「白龍」】

本船は、伊勢湾及び三河湾内の環境保全と航行船舶の安全を図るため、海面に浮遊するゴミを回収します。

また、大規模油流出事故が発生した場合は、海洋汚染防除のため、速やかに事故現場へ向かい、油回収業務を行います。

さらに、伊勢湾・三河湾の、水質・底質調査、海底地形探査等の調査を行い、健全で活力ある伊勢湾・三河湾を次世代に継承するために環境特性の把握を行います。

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



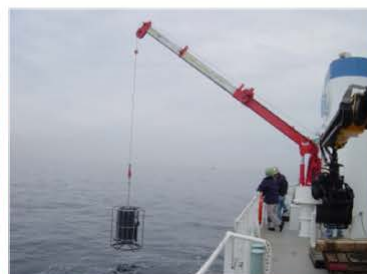
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ